平成24年10月31日

平成24年度第2四半期(4～9月)決算について

当社は、平成24年度第２四半期（４～９月）決算の
概要について、次のとおり取りまとめました。

北　海　道　電　力　株　式　会　社

（お問い合せ先）
北海道電力㈱ 広報部広報企画グループ
ＴＥＬ：０１１－２５１－４０７６（直通）

Ⅰ．平成24年度第２四半期決算の概要

○ 連 結 決 算

１．連結経営成績（累計）

	売上高		営業損益		経常損益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	277,011	△ 8.7	△ 40,944	―	△ 49,400	―
24年３月期第２四半期	303,273	12.9	18,609	△ 15.5	12,141	△ 22.1

	四半期純損益		１株当たり四半期純損益
	百万円	%	円 銭
25年３月期第２四半期	△ 48,631	―	△ 236.56
24年３月期第２四半期	5,046	42.7	24.55

（注１）パーセント表示は、対前年同四半期増減率

（注２）営業損益、経常損益、四半期純損益、１株当たり四半期純損益欄の△は、損失を示しております。

２．連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第２四半期	1,652,386	271,836	15.8
24 年 3 月 期	1,618,850	327,280	19.5

○ 単 独 決 算

１．経営成績（累計）

	売上高		営業損益		経常損益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	268,278	△ 9.0	△ 40,380	―	△ 48,900	―
24年３月期第２四半期	294,696	13.2	17,067	△ 21.4	10,470	△ 31.0

	四半期純損益		１株当たり四半期純損益
	百万円	%	円 銭
25年３月期第２四半期	△ 48,242	―	△ 234.66
24年３月期第２四半期	4,042	19.5	19.66

（注１）パーセント表示は、対前年同四半期増減率

（注２）営業損益、経常損益、四半期純損益、１株当たり四半期純損益欄の△は、損失を示しております。

２．財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第２四半期	1,588,785	224,825	14.2
24 年 3 月 期	1,553,474	279,741	18.0

Ⅱ．連 結 決 算 の 概 要

当第２四半期連結累計期間の収支につきましては、収入面では、販売電力量の減少や本州方面への融通電力量の減少などから、営業収益（売上高）は、前年同期に比べ２６２億円（△８．７％）減少の２，７７０億円となり、これに営業外収益を加えた経常収益は２６４億円（△８．７％）減少の２，７８７億円となりました。

支出面では、発電設備に係る定期検査費用の減少に加え、石炭火力の稼働を高めるなど経営効率化に努めましたが、泊発電所停止日数の増加による燃料費の大幅な増加などにより、営業費用は、前年同期に比べ３３２億円（１１．７％）増加の３，１７９億円となり、これに営業外費用を加えた経常費用は、３５０億円（１２．０％）増加の３，２８１億円となりました。

以上により、営業損益は４０９億円、経常損益は４９４億円、四半期純損益は４８６億円といずれも過去最大の損失となりました。

連結収支比較表　　（単位：百万円）

		当第２四半期連結累計期間 (A)	前第２四半期連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	前年同期比％ (A)/(B)	前期
経常収益	営業収益（売上高）	277,011	303,273	△26,262	91.3	634,439
	電気事業営業収益	267,516	293,936	△26,420	91.0	614,419
	その他事業営業収益	9,494	9,337	157	101.7	20,019
	営業外収益	1,716	1,902	△ 186	90.2	4,213
	合計	278,727	305,176	△26,448	91.3	638,653
経常費用	営業費用	317,955	284,664	33,291	111.7	631,956
	電気事業営業費用	309,816	276,553	33,263	112.0	614,509
	その他事業営業費用	8,138	8,110	28	100.3	17,446
	営業外費用	10,172	8,370	1,802	121.5	16,365
	合計	328,128	293,034	35,093	112.0	648,322
［営業損益］		［△40,944］	［ 18,609］	［△59,553］	［ － ］	［ 2,482］
経常損益		△49,400	12,141	△61,542	－	△ 9,669
渇水準備金引当又は取崩し		△ 657	4,138	△ 4,796	－	4,895
税金等調整前四半期（当期）純損益		△48,742	8,003	△56,745	－	△14,565
法人税等		△ 100	2,931	△ 3,032	－	57,150
少数株主損益調整前四半期（当期）純損益		△48,641	5,072	△53,713	－	△71,716
少数株主損益		△ 9	25	△ 35	－	350
四半期（当期）純損益		△48,631	5,046	△53,678	－	△72,066

（注）　営業損益、経常損益、税金等調整前四半期（当期）純損益、少数株主損益調整前四半期（当期）純損益、少数株主損益、四半期（当期）純損益欄の△は、損失を示しております。

連結対象会社

連結子会社	持分法適用会社
北海電気工事㈱	北海道計器工業㈱、北電総合設計㈱、
北電興業㈱	ほくでんｻｰﾋﾞｽ㈱、ほくでん情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ㈱、
北海道ﾊﾟﾜｰｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ㈱	㈱ｴﾅｼﾞｰﾌﾛﾝﾃｨｱ、㈱ほくでんｽﾎﾟｰﾂﾌｨｰﾙｽﾞ、
苫東ｺｰﾙｾﾝﾀｰ㈱	北海道ﾌｰﾄﾞﾌﾛﾝﾃｨｱ㈱、㈱ほくでんｱｿｼｴ
ほくでんｴｺｴﾅｼﾞｰ㈱	
北海道総合通信網㈱	

Ⅲ. 単 独 決 算 の 概 要

１．需　　要

・ 電灯および電力は、節電のご協力をいただいた影響などから、１．０％の減少となりました。

・ 特定規模需要は、節電のご協力をいただいた影響や、紙・パルプ、鉄鋼業などで自家発電の稼働増により需要を抑制いただいたことなどから、２．３％の減少となりました。

・ この結果、販売電力量合計では、１．８％の減少となりました。

販 売 電 力 量　　（単位：百万ｋＷｈ）

		当第２四半期累計期間 (A)	前第２四半期累計期間 (B)	増　減 (A)-(B)	前年同期比％ (A)/(B)	前　期
特定規模需要以外	電　灯	5,338	5,407	△ 69	98.7	12,078
	電　力	892	887	5	100.5	2,651
	電灯電力計	6,230	6,294	△ 64	99.0	14,729
特定規模需要		8,371	8,571	△ 200	97.7	17,416
合　計		14,601	14,865	△ 264	98.2	32,145

２．供　　給

・ 当第２四半期累計期間の出水率は９０．２％と平年を下回り、また、泊発電所における１・２号機の長期停止や、３号機の定期検査による運転停止に加え、火力発電所の計画外停止・出力抑制などにより、厳しい需給状況となりました。

・ こうしたなか、自家発をお持ちのお客さまからの受電や緊急設置電源の導入など、できる限りの供給力対策を実施し、安定供給を維持することができました。

供 給 電 力 量　　（単位：百万ｋＷｈ）

		当第２四半期累計期間 (A)	前第２四半期累計期間 (B)	増　減 (A)-(B)	前年同期比％ (A)/(B)	前　期
自社	（出水率％）	(90.2)	(117.4)	(△ 27.2)		(111.6)
	水　力	1,941	2,532	△ 591	76.6	3,773
	火　力	10,679	7,675	3,004	139.2	20,564
	（設備利用率％）	(8.6)	(71.7)	(△ 63.1)		(58.6)
	原　子　力	784	6,514	△ 5,730	12.0	10,663
	新エネルギー等	40	30	10	128.4	83
	計	13,444	16,751	△ 3,307	80.3	35,083
他社受電		2,595	2,234	361	116.2	4,865
融通		△ 13	△ 2,304	2,291	0.5	△ 3,429
揚水用		△ 10	△ 39	29	27.7	△ 46
合　計		16,016	16,642	△ 626	96.2	36,473

3.収　　支

（1）収　　益

・ 電灯・電力収入は、販売電力量の減少はありましたが、燃料費調整制度の影響などにより、３７億円（１.５％）の増加となりました。

・ その他収益は、本州方面への融通電力量の減少などにより、３０４億円（△７６.４％）の減少となりました。

・ この結果、経常収益合計では、２６６億円（△９.０％）減少し、2,６９７億円となりました。

（2）費　　用

・ 人件費は、退職給付会計に係る費用の増加などにより、１１億円（３.９％）の増加となりました。

・ 燃料費・購入電力料は、本州方面への融通電力量の減少などはありましたが、泊発電所停止日数の増加などにより、５４７億円（６６.９％)の増加となりました。

・ 修繕費は、発電設備に係る定期検査費用の減少などにより、１５６億円（△３２.６％）の減少となりました。

・ 減価償却費は、定率償却による逓減効果などにより、４２億円（△８.８％）の減少となりました。

・ 支払利息は、有利子負債の増加などにより、２億円（３.１％）の増加となりました。

・ その他費用は、原子力バックエンド費用の減少などにより、３５億円（△４.９％）の減少となりました。

・ この結果、経常費用合計では、３２７億円（１１.４％）増加し、3,１８６億円となりました。

（3）損　　益

・ 泊発電所停止日数の増加による燃料費の大幅な増加などにより、経常損益は４８９億円、四半期純損益は４８２億円といずれも過去最大の損失となりました。

収 支 比 較 表　　（単位：百万円）

		当第２四半期累計期間 (A)	前第２四半期累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	前年同期比% (A)/(B)	前期
経常収益	電灯料	118,721	117,137	1,584	101.4	257,115
	電力料	141,672	139,458	2,214	101.6	294,026
	（小計）	(260,394)	(256,596)	(3,798)	(101.5)	(551,142)
	その他収益	9,383	39,814	△ 30,431	23.6	67,661
	［売上高］	[268,278]	[294,696]	[△ 26,418]	[91.0]	[615,756]
	合計	269,777	296,411	△ 26,633	91.0	618,803
経常費用	人件費	30,907	29,757	1,150	103.9	58,605
	燃料費・購入電力料	136,620	81,846	54,773	166.9	221,499
	修繕費	32,227	47,846	△ 15,618	67.4	101,867
	減価償却費	44,045	48,310	△ 4,265	91.2	99,233
	支払利息	7,176	6,960	216	103.1	13,933
	その他費用	67,701	71,219	△ 3,518	95.1	138,355
	合計	318,678	285,940	32,737	111.4	633,495
［営業損益］		[△ 40,380]	[17,067]	[△ 57,447]	[－]	[△ 1,887]
経常損益		△ 48,900	10,470	△ 59,370	－	△ 14,691
渇水準備金引当又は取崩し		△ 657	4,138	△ 4,796	－	4,895
税引前四半期(当期)純損益		△ 48,242	6,331	△ 54,573	－	△ 19,587
法人税等		－	2,288	△ 2,288	－	54,956
四半期（当期）純損益		△ 48,242	4,042	△ 52,285	－	△ 74,544

（注）営業損益、経常損益、税引前四半期（当期）純損益、四半期（当期）純損益欄の△は、損失を示しております。

Ⅳ. 業 績 の 見 通 し

当社は、今冬の電力需給を万全なものとするため、安全確保を大前提に、１日も早い泊発電所の発電再開に向けた取組みを進めておりますが、泊発電所の発電再開時期が依然として未確定であり、現時点においては今後の需給状況を見通すことができないことから、通期の業績予想（売上高、営業損益、経常損益、当期純損益）につきましては、連結・単独ともに、引き続き「未定」といたします。今後、業績を見通すことが可能となり次第、速やかにお知らせいたします。

期末配当につきましては、泊発電所の発電再開時期が未確定な状況が続いていることから、引き続き「未定」とさせていただきます。